検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検　査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか		
	●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障があるとき	▶	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。
取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®　コメット株式会社

本社	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
コマーシャル部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
名古屋営業所 ストロボクリニック課	〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
大阪営業所	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
福岡営業所	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 ストロボクリニック課	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
海外事業部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872

URL　http://www.comet-net.co.jp　　E-mail　mail@comet-net.co.jp

1301-0010A-2

COMET

CBc-12X II

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

はじめに

このたびは、コメットCBc-12X Ⅱ電源部をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、近年のデジタル撮影に対応すべく、小光量域の調光範囲をさらに広げFULLから1/64(6絞り) までをカバーしました。また、初代CBc-12X電源部の特徴であった、出力コネクターの差し込み位置による出力配分の均等と光量比2：1の選択機能や、ロケ先の電源容量に合わせて選べる、スロー充電モードを踏襲しました。CB-25ヘッドとの組み合わせで携帯性にもすぐれ、あらゆる撮影のシュチュエーションにマッチする電源部です。
なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分にご理解いただいたうえでご活用ください。

付属品

● AC コード（インレットタイプ　5m）	1 本
● CR シンクロコード（ホーンジャックタイプ　5m）	1 本
●ヒューズ　ストロボ用　10A	2 本
モデリング用　4A	1 本
● 出力表示シール	1
● 取扱説明書	1
● 保証書	1

目次

1. 安全のため特にご注意ください …… 1～4
2. 使用上のご注意とお願い ……5
3. 各部の名称とはたらき …… 6～7
4. 操作手順 …… 8～9
5. 出力モード …… 10
6. 出力バリエーター …… 10
7. モデリングランプモード …… 11
8. 充電モード …… 11
9. 充電サウンド …… 12
10. フォトセル …… 12
11. 不発光警報 …… 13
12. 過熱警報 …… 13
13. 充電異常警報 …… 14
14. ヒューズ交換 …… 14
15. 仕様 …… 15
16. 保証とアフターサービス …… 16

1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の３つに区分しています。

■使用後は安全のため必ず AC コードをコンセントから抜きとるか、ブレーカーなどを OFF にしてください。発火、火災の恐れがあります。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味

△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。

⃠記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図は分解禁止）を示しています。

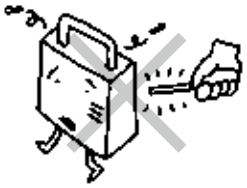
●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告

■修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切り AC コードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。
また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。
十分注意をしてください。



■水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

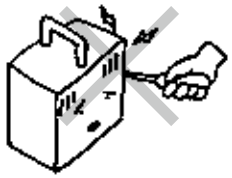
漏電による感電の恐れがあります。

■電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

■電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



■感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、AC コードをコンセントから抜いて行ってください。
アース線は絶対にガス管にはつながないでください。

■使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。
取扱いには十分注意をしてください。

■ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。

■ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。

■揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。

■使用電圧は AC100V（50/60Hz）です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

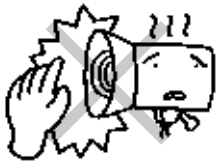
■AC コードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

⚠ 注　意

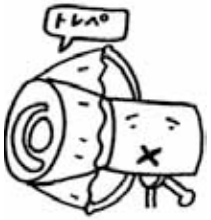
■使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



■ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



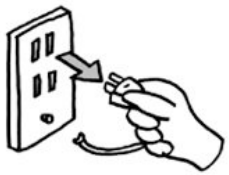
■ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。

■落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

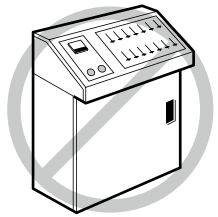
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。
コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。

■使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



2 使用上のご注意とお願い

■本機の定格入力電圧はAC100V±10%（50/60Hz）です。定格電圧以外での使用は故障の原因となります。

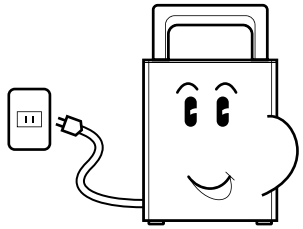


■調光機に接続しての使用はしないでください。本機および調光機を破損する恐れがあります。

■本機の適合ヘッドはCB-25ヘッドです。その他のCXタイプヘッドをご使用になるときは最大入力定格（ストロボおよびモデリングランプ定格）にご注意ください。定格の合わないヘッドの使用は故障の原因となるだけではなく大変危険です。

■本機でCX-12バイチューブヘッド、レクト-126ヘッドをご使用になるときは、いずれも1灯のみにしてください。多灯使用は電源部を壊す恐れがあります。

■ストロボ電源部は使用しないときでも1ヶ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。



■3ヶ月以上（10ヶ月未満）の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

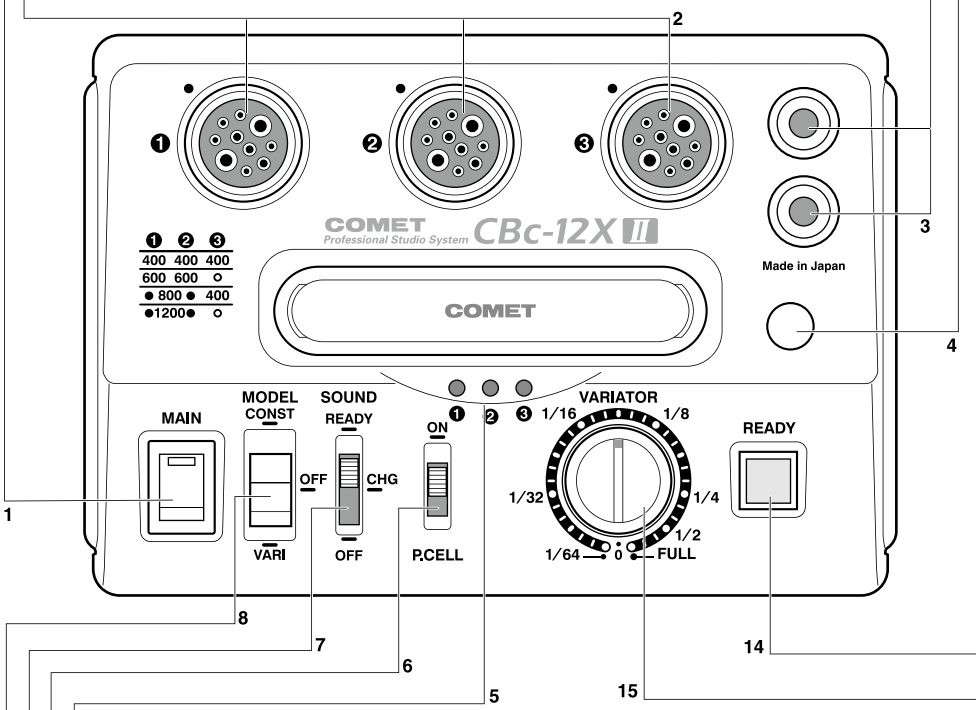
■10ヶ月以上の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検（有料）を受けてください。長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、発火、火災の恐れがあります。

■赤外シンクロ装置（当社製）の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■赤外シンクロ装置（当社製）を使用するときは、使用する各々の電源部に受信器をセットし、電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。
赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出ることがあります。

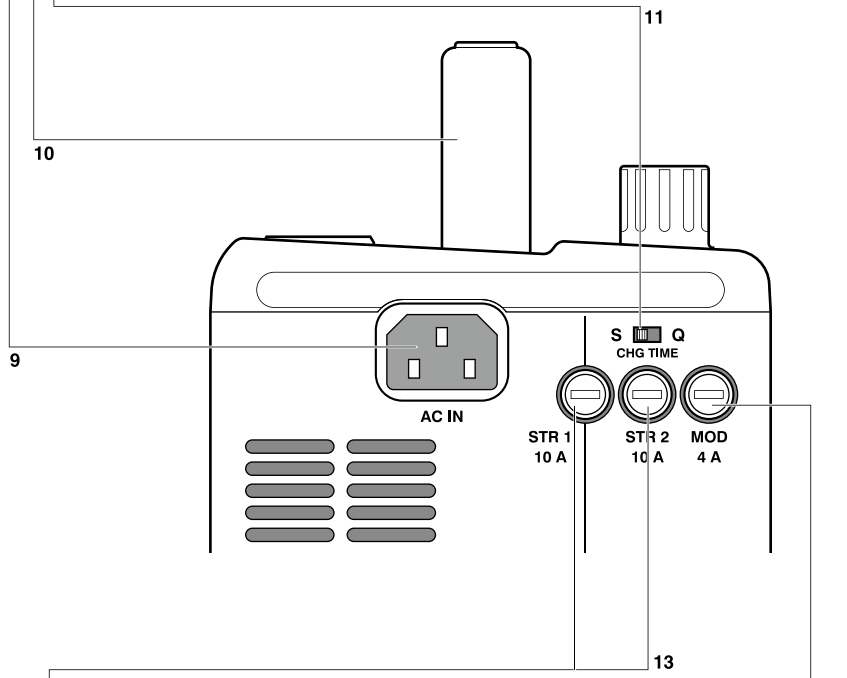
3 各部の名称とはたらき

	名称	はたらき	参照頁
1	メインスイッチ（MAIN）	AC電源スイッチです。パイロットランプは「ON」のとき点灯し、過熱警報時は点滅します。	8・13
2	出力コネクター（1・2・3）	ヘッドを接続します。着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。	8・10
3	シンクロソケット	付属のホーンジャックタイプのシンクロコードでカメラと接続します。	9
4	フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。	12



	名称	はたらき	参照頁
5	不発光表示（1・2・3）	不発光が生じたとき該当するコネクターのランプが点滅します。	13
6	フォトセルスイッチ（P・CELL）	他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。	12
7	サウンドスイッチ（SOUND）	「充電完了音（READY）」「充電中音（CHG）」または「OFF」にします。	8・12
8	モデリングランプスイッチ（MODEL）	モデリングランプを「100%点灯（CONST）」「調光（VARI）」または「OFF」にします。	9・11

	名称	はたらき	参照頁
9	ACコネクター（AC IN）	付属のACコードで電源部とACコンセントを接続します。	8
10	取　手	上部のカバーを外すとスペアヒューズが収納されています。	
11	充電モードスイッチ（CHG TIME）	AC電源容量に合った、充電時間を選択します。	11



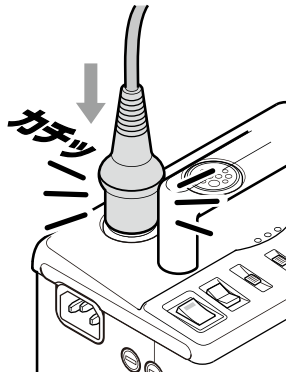
	名称	はたらき	参照頁
12	モデリングランプヒューズ（MOD）	モデリング回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	14
13	ストロボヒューズ（STR 1・STR 2）	ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	14
14	レディーランプ（READY）テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。点灯している部分を軽く押すと発光します。	9
15	出力バリエーター（VARIATOR）	出力をFULLから1/4まで1/3EVステップで、1/4から1/64まで1/6EVステップで調光します。	10

4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部へ接続します

ヘッドコードを電源部の出力モードに合わせて、出力コネクターへ接続します。

" カチッ " と音がするまで十分に差し込んでください。

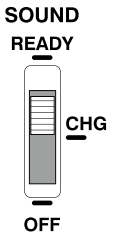


【ご注意】

- コネクターを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクターが損傷し、発火の恐れがあります。また、コネクターを着脱するときはメインスイッチ（MAIN）を必ず「OFF」にしてください。

■ 2. 充電サウンドを選択します

充電状態を知らせるサウンド（**SOUND**）が必要なときは、「充電完了音 = **READY**」「充電中音 = **CHG**」のいずれかにセットします。

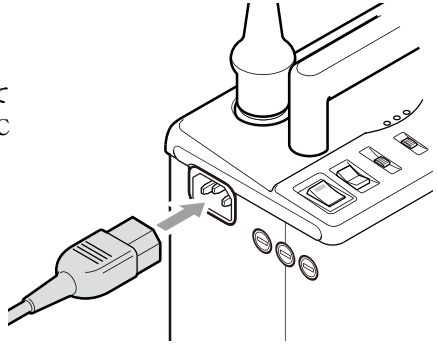


- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。
- 詳細は 12 ページをご参照ください。

■ 3. AC コードを接続します

電源部のメインスイッチ（**MAIN**）が「**OFF**」になっていることを確かめてから、AC コードを電源部の AC コネクターへ、十分に差し込んでください。

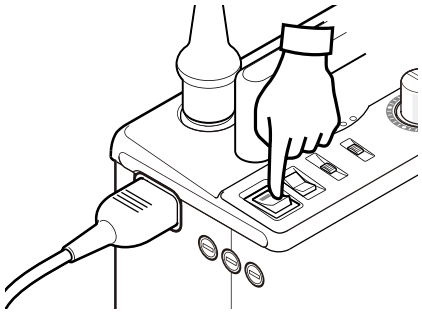
そのあと、AC コードをコンセントへ差し込みます。



■ 4. メインスイッチを「ON」にします

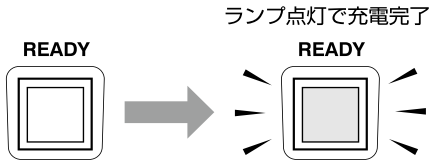
メインスイッチ（**MAIN**）を「**ON**」にします。

AC パイロットランプが点灯し、充電が始まります。



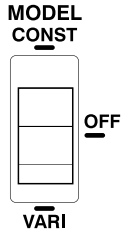
■ 5. 充電の完了

充電が完了すると、レディーランプ（テスト発光スイッチ兼用）が点灯し、発光準備が完了します。



■ 6. モデリングランプモードを選択します

モデリングランプスイッチ（**MODEL**）でモデリングランプの点灯モードを選択します。



- 詳細は 11 ページをご参照ください。

■ 7. テスト発光をします

テスト発光スイッチ（**READY**）を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

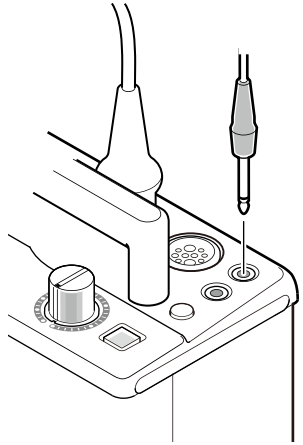
■ 8. カメラとのシンクロを確認します

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

- 本番撮影をされる前にフィルムやデジタル画像等でカメラのシンクロ（同調）テストをされることをお奨めします。

【ご注意】

- カメラまたはレンズに M/X 接点があるときは、必ず、X 接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を 1/60 ～ 1/30 で使用してください。



5 出力モード

出力モードは、使用する出力コネクターと灯数で選択します。
調光は各々の出力値を最大出力として、出力バリエーターで 1/64 まで調光できます。

コネクター番号	①	②	③
1灯	1200	—	—
1灯	—	1200	—
1灯	—	—	※ 400
2灯	600	600	—
2灯	800	—	400
2灯	—	800	400
3灯	400	400	400

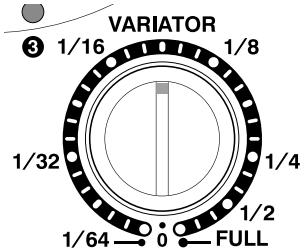
※400Ws1灯使用時は初回の充電のみ、充電時間が約7秒かかります。　単位（Ws）

【ご注意】

●コネクターを着脱するときは、必ずメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にしてから行ってください。

6 出力バリエーター

出力バリエーター（**VARIATOR**）は、FULL 表示位置から 1/4 までを 1/3EV ステップ、1/4 から 1/64 までを 1/6EV ステップで調光します。



1. 出力バリエーター（VARIATOR）を下げたとき

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げても内部のメインコンデンサーに蓄められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定値まで下がりません。
この場合は、一度発光してください。充電が完了すると設定された出力値になります。

2. 出力バリエーター（VARIATOR）を上げたとき

設定された出力値まで自動的に充電が行なわれますので、発光操作の必要はありません。
この場合、レディーランプがいったん消灯し、充電が完了すると再点灯します。

●目盛り 0 の位置では、ストロボは発光しません。

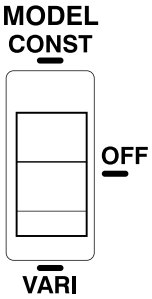
7 モデリングランプモード

モデリングランプの点灯モードを選択します。

■ CONST　出力バリエーターに関係なく、モデリングランプが常に100%の明るさで点灯します。

■ OFF　モデリングランプを消灯します。

■ VARI　モデリングランプをストロボ出力と連動して、FULL から 1/16 まで調光します。
ストロボ出力が 1/16 から 1/32 は、モデリングランプの調光は変わりません。



8 充電モード

使用状況や電力事情によってブレーカー容量が不足のときは、スロー充電モードで使用することができます。

充電時間とブレーカー容量

	充電時間 50Hz/60Hz	ブレーカー容量
クイック（Q）	2.6/2.1秒	15A
スロー　（S）	3.5/3.0秒	10A

※ 400Ws1 灯使用時は初回の充電のみ、充電時間が約 7 秒かかります。

9 充電サウンド

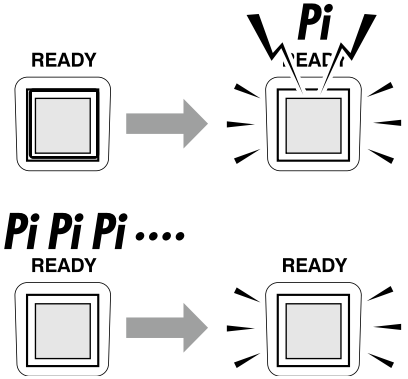
充電の状況をブザー音で知らせます。

■ READY
充電が完了したとき、ブザーが鳴ります。

■ CHG
充電中ブザー(断続音)が鳴り、完了すると止まります。

■ OFF
消音。

●警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

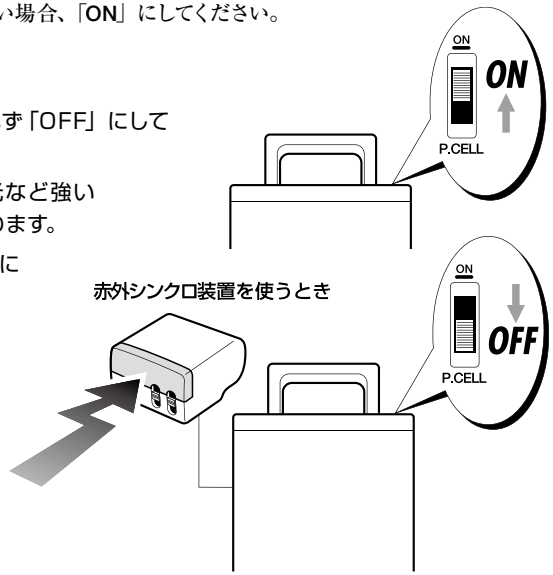


10 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光したい場合、「ON」にしてください。

【ご注意】

- 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。

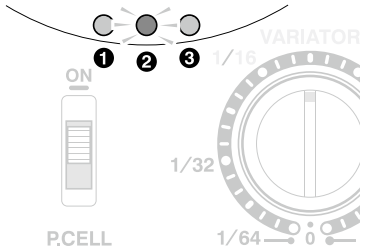


11 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、ブザーが鳴り、該当する出力コネクターの不発光表示が点滅（赤）して不発光を知らせます。
充電完了前に発光操作を行ったときも、発光せず該当する不発光表示が点滅します。

●警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■警報の解除
不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば解除されます。
また、メインスイッチ（MAIN）をいったん「OFF」にすることでも解除できます。



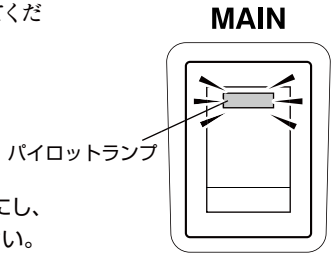
12 過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、メインスイッチ（MAIN）の表示ランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。このときは、ただちに使用を中止してください。

●警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

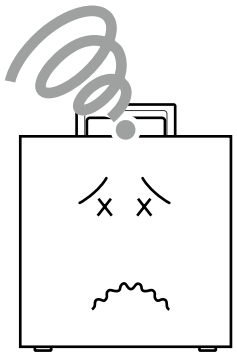
【ご注意】

●冷却を早めるために、メインスイッチ（MAIN）を「ON」にし、発光操作をせずに、風通しの良いところに置いてください。このとき、モデリングランプスイッチ（MODEL）は「OFF」にしてください。



13 充電異常警報

充電が所定の時間内に完了しなかったときは、レディーランプ（**READY**）が消灯したままブザーの連続音で知らせます。
このとき、メインスイッチ（**MAIN**）をいったん「**OFF**」にし、再度メインスイッチ（**MAIN**）を「**ON**」にしてください。再び充電異常警報が発生するようなときは、内部の故障が考えられますので速やかに使用を中止して、点検・修理を受けてください。
なお、点検・修理については「保証とアフターサービス」をお読みください。



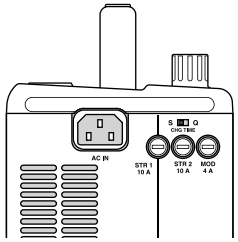
● 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

14 ヒューズ交換

ヒューズホルダーの蓋をドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。
切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

【ご注意】

● ヒューズ交換は、メインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて行ってください。



STR 1	10A
STR 2	10A
MOD	4A

● ヒューズは必ず定格のものを使用してください。

15 仕様

品　　名	CBc-12XⅡ　電源部
型　　式	CBc-12XⅡ
定格電圧	AC100V±10%（50/60Hz）
ヒューズ定格	ストロボ　　10A 2 本 モデリング　4A 1 本
出力コネクター数	3（CX タイプコネクター）
最大出力	1200Ws
出力配分（Ws）	出力配分は出力コネクター感知方式で使用する出力コネクターにより、自動的に下表のように配分されます。

	①	②	③
1 灯	1200	−	−
1 灯	−	1200	−
1 灯	−	−	※400
2 灯	600	600	−
2 灯	800	−	400
2 灯	−	800	400
3 灯	400	400	400

※400Ws 1 灯使用時は初回の充電のみ、充電時間が約 7 秒かかります。

充電時間（秒）

充電モード	50Hz	60Hz
クイック（Q）	2.6	2.1
スロー（S）	3.5	3.0

充電時間は使用する AC 電源の周波数によって異なります。

ストロボ調光方式	電圧調光（1 回路調光）
ストロボ調光範囲	FULL〜1/64（6 絞り） FULL から 1/4 まで 1/3 EV ステップ（クリック） 1/4 から 1/64 まで 1/6 EV ステップ（クリック）
出力表示	バリエーター目盛　※目盛 0 の位置ではストロボは発光しません。
モデリング調光	1.（CONST）100%点灯 2.（OFF）　消灯 3.（VARI）　FULL〜1/16 まで出力連動調光 1/16〜1/64 は 1/16 の光量で一定
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ × 2
シンクロ電圧	DC12V
フォトセル	内蔵（スイッチ付）
充電サウンド	充電完了音（READY）/ 充電中音（CHG）/ 消音（OFF）
不発光警報	該当する不発光表示点滅とブザーによる連続音 ※充電完了前に発光操作をすると警報がでます。
過熱警報	AC パイロットランプ点滅とブザーによる連続音
クーリングファン	内蔵
寸　法（mm）	184（w）×　188（h）×　127（d）
重　量（kg）	3.3

● 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
なお、この仕様は 2013 年 1 月現在のものです。

16 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・AC コード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前に AC プラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

MEMO